

人質事件経緯

・水面下での人質解放交渉を行わなかった政府

後藤さん拘束直後に、奥さんは ISIL から身代金要求メールを受け取り、外務省に相談している。過去にフランスやスペインなどは、水面下で ISIL と交渉し人質をとりもどしているのに、外務省は、交渉を認めない米英の言うままに交渉などの手段を講じなかった。

・ ISIL を刺激し続けた安倍政権

二人が拘束されている状況の中で、安倍首相は「《イスラム国と戦う国に》、2億ドルを支援する」と演説した。

その3日後に、ISIL は後藤さんの身代金として同額の2億ドルを要求してきた。

日本人拘束を把握している状況で、なぜ ISIL を挑発的するような演説を行ったのか。

・後藤さん救出の差し迫った時間の中で

安倍首相は、（ガザで殺戮を繰り返しているため、ISIL の敵となっている）イスラエルの国旗の前で、「日本はテロに屈しない」という演説を行い、日本政府もまた、ISIL の敵国であるイギリスと2+2（外務・防衛閣僚）会議を行う。

・救出対策本部について、自由シリア軍からも中立のトルコに置くよう提案があり、トルコも「日本からの要請があれば、協力する」としていたのに、ISIL の敵であるヨルダンに本部を置いて、さらに ISIL を刺激した。

・安倍政権の対応についての疑問

なぜ、フランスなどと同様に水面下での交渉を進めなかったのか？

なぜ、人質拘束中に挑発的な行動を続けたのか？

なぜ、対策本部を、中立で人質救出の実績のあるトルコではなく、ISIL の敵国ヨルダンにおいたのか。

安倍政権は敢えて、人質救出の打つべき手立てを講じなかったと言っても過言ではない。

ではなぜ、救出の手立てを講じなかったか。

それは、ISIL の残忍さ怖さをアピールし、日本も狙われていることを強調し、米のイスラム空爆を正当化し、自衛隊派遣の正当性をアピールすることで、集団的自衛権行使につながるためと考えられる。

安倍内閣になって、福祉などは削られるが軍備はのばされているのが現状だ。

なぜ中東に紛争が絶えないか。

フランスは、植民地を引き上げる前に、現地での少数派であるアサドのアラウィー派（シリア派の一部）に武器を渡して軍隊を作らせた。武器を得た少数派に政権をとらずことで、不安定な政府を作らせ、列強の支援に依存し続ける形を作る。植民地後内戦が続く地域は、どこも同様な構図になっており、作られた内戦で列強の武器商人はうるおい続け、内戦が引き伸ばされている。

アメリカも、イラク戦争後イラクを無政府状態に置き続け、正常な経済活動ができない状態の中で、イラク国内の75%の石油を手に入れ、国に残るのは25%という状態が続いている。その国が泥沼化して弱まっていれば、外国は資源を手に入れやすい。だから、列強は「とろ火の戦争」を続けたがっている。

ロシアはアサド政権に、アメリカは自由シリア軍に武器を売り続け、それぞれに、中東での天然ガスのパイプラインの利権を狙っている。現地では、アサド軍の空爆とISILの恐怖から、人々は避難民となって逃げだしている。

イラク戦争の時は、世界中で反戦運動が起きたが、現在は構図がわかりにくい戦争にしているため、ISIL空爆への批判が起きず、空爆で軍需産業はうるおい続けている。

ISILは、アメリカがイラク戦争を起こしたことが原因で生まれたのに、テレビなどの報道は、その原因を暴かない。

戦争も原発もウソで始まる。

国はウソをつく。「広告」で国民を煽って参戦していく。

安倍政権は、三菱重工や東芝などを引き連れて、世界で原発と武器を売り歩いている。

テレビなどは、スポンサーが上記の大企業なので、メディアが機能しなくなっている。

消費税増税後、大企業や金持ちは減税したので、国の税収は減っている。

そういう実情についての報道も全くされていない。

西谷さんが写したシリアの映像

空爆でガレキと化した街で、子供たちが傷を負い、母親達が泣き崩れ、男たちが怒り嘆いている悲惨な映像が紹介されました。

最後は、日本国内の、原発や集団的自衛権行使阻止運動、辺野古の闘いなどのたくさんの写真を繋げた映像でした。各地の人々の懸命な姿に、涙が出そうになりました。

「報道はされないけど、各地で運動が広がり高まっている。がんばりましょう。」と

西谷さんは締めくくられました。